

冷凍・冷蔵食品の輸入貨物取扱需要に対応

## 埼玉・神奈川の冷凍・冷蔵倉庫で「保税蔵置場」許可を取得

鴻池運輸の関東エリア初、冷凍・冷蔵倉庫の保税蔵置場

鴻池運輸株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦、以下 鴻池運輸）は、冷凍・冷蔵食品の保管・配送拠点の関東定温流通センター（埼玉県北葛飾郡）および厚木定温流通センター（神奈川県愛甲郡）で、このたび輸入貨物の取り扱いが可能な「保税蔵置場」<sup>※1</sup>の許可を取得しました。昨今旺盛な冷凍・冷蔵食品の輸入貨物取扱需要に応えることで鴻池運輸の定温物流サービス<sup>※2</sup>を強化していきます。なお2024年春には、鴻池運輸の越谷定温流通センター（埼玉県越谷市）においても保税蔵置場許可を取得予定です。

※1 外国貨物の積み降ろし・運搬・保管等ができる倉庫

※2 鴻池運輸 Web サイト「定温物流サービス紹介」<https://www.konoike.net/solution/servicelineup/coldlogistics/>

今回の保税蔵置場許可取得は、首都圏湾岸部の冷凍・冷蔵倉庫不足を背景に、特に冷凍・冷蔵食品の輸入品を扱うお客さまの内陸保管の需要拡大に対応するもので、鴻池運輸の関東エリアの冷凍・冷蔵倉庫では初の保税蔵置場<sup>※3</sup>となります。

関東定温流通センターは、東京税関より2023年11月1日～2029年10月31日の期間で、また厚木定温流通センターは、横浜税関より2023年12月1日～2029年11月30日の期間で取得しました。

※3 鴻池運輸の冷凍・冷蔵倉庫では、今回取得した関東定温流通センター、厚木定温流通センターの他、「大阪北港定温流通センター」、「名古屋定温流通センター」が保税蔵置場許可を取得しています

### ■保税蔵置場について

	関東定温流通センター	厚木定温流通センター
対象エリア	1,762 m <sup>2</sup> （倉庫全体 14,300 m <sup>2</sup> ）	1,911 m <sup>2</sup> （倉庫全体 10,400 m <sup>2</sup> ）
保管貨物の種類	輸入冷凍・冷蔵貨物	輸入冷凍・冷蔵貨物
期間	2023年11月1日～2029年10月31日	2023年12月1日～2029年11月30日
所在	埼玉県北葛飾郡杉戸町大字深輪 300-3	神奈川県愛甲郡愛川町中津字桜台 4070-1

### ■関東定温流通センター倉庫外観



### ■厚木定温流通センター倉庫外観



■ 鴻池運輸株式会社の概要 (<https://www.konoike.net/>)

KONOIKE グループは、物流の枠を超え、製造、医療、空港業務などを通じ、社会課題の解決と革新に挑戦し続ける、プロフェッショナルサービス集団です。

商号	鴻池運輸株式会社 ※東証プライム市場	代表者	代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦
大阪本社	大阪市中央区伏見町 4-3-9	東京本社	東京都中央区銀座6-10-1
創業	1880 (明治 13) 年 5 月	会社設立	1945 (昭和20) 年5月30日
資本金	1,723百万円	従業員数	約24,000名 (連結) ※臨時雇用者数を含む
売上高	311,840百万円 (連結)	営業利益	13,243百万円 (連結)
事業内容	鉄鋼事業、エンジニアリング事業、食品関連/定温物流事業、食品プロダクツ関連事業、生活関連事業、メディカル事業、空港事業、国際物流事業、インド事業		

※資本金、従業員数、売上高、営業利益：2023年3月31日現在

- 本ニュースリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。